

＜12月16日～31日の国内外外国為替市場動向＞

	為替市況	主要経済指標など	主要発言など	為替レート		
				ドル円	ユーロ円	24H
05/12/16 (金)	東京は円が小高い。東工取の措置を受けてユーロなどを売り円を買い戻す動きが目立つ。欧米はドルが弱含み。発表された米経常赤字は予想より良好ながら買い材料にはならず。	・東工取が金の証拠金を引き上げる臨時措置 ・日銀会合は7対2で金融政策の据え置き決定 ・12月独IFO指数99.6 ・第3四半期米経常赤字1958億ドル	・シンガポール当局がドル買い介入している、とのウワザあり ・谷垣財務相「為替はここ数日かなり激しい値動き」 ・一部伊紙「ファツィオ伊中銀総裁がインタイダー取引で捜査対象に」	116.33 115.65 116.52 115.67	139.20 138.20 139.95 138.94	寄付 安値 高値 終値
05/12/19 (月)	東京は一変し円独歩安。週末を挟んだことで安心感が台頭。心理的にもドルのバニック売りは見られず。欧米はレンジ内での揉み合い。クリスマス週ということで商いは薄くなっており、動意は手控えられた。	・12月の月例経済報告発表、景気判断は4ヶ月連続の据え置きに ・伊中銀総裁が辞任を発表	・谷垣財務相「為替は注意深く見なければいけない」 ・ギリシャ中銀総裁「直近の利上げがインフレ効果を挙げなければ追加利上げ実施へ」	115.58 115.52 116.59 116.15	139.10 138.91 140.04 139.46	寄付 安値 高値 終値
05/12/20 (火)	東京はゴト一日仲値不足などもありドル小じっかり。また投信設定などを受けた円売りも見られた。欧米はドルが大幅続伸。ストの影響で商い閑散のなか、発表された指標が良好で好感したドル買い活発。	・11月の米住宅着工件数212.3万戸、同PPIは▲0.7% ・NY交通機関労組で労使交渉決裂、25年ぶりの全面ストへ		116.08 115.97 117.30 117.25	139.35 138.57 139.95 139.05	寄付 安値 高値 終値
05/12/21 (水)	東京は揉み合い。ドル買いムードは強いものの、117円台では輸出手当ても散発的に観測されている。欧米はECB筋の発言からユーロ買いでスタート。しかしその後は続かず、むしろ米金利の上昇もありドル高へ。	・英中銀が12月8、9日の会合議事録発表、そのなかでニッケル委員が25BPの利下げに投票 ・第3四半期米GDP確定値4.1%(改定値4.3%)、同デフレーターは3.3%に上方修正	・ECB筋「来年3月に25BP利上げの見込み」	117.27 116.75 117.54 117.40	139.27 138.55 139.39 138.95	寄付 安値 高値 終値
05/12/22 (木)	東京はレンジ内での一進一退で方向性乏しい。指標の発表などにも反応は限定的。欧米はPCEコアデフレーターを受けて米金利が低下。それを嫌気したドル売りがかさむ展開となった。	・11月の貿易黒字6006億円、10月の第三次産業活動指数1.2% ・11月の米個人所得0.3%、同個人消費0.3%、PCEコアデフレーター-0.1%、同景気先行指数0.5%	・福井日銀総裁「来年も緩やかながら息の長い景気回復が展望できる」	117.48 116.41 117.65 116.67	138.99 138.29 139.21 138.46	寄付 安値 高値 終値
05/12/23 (金)	東京市場は休場で、アジアタイムは商い閑散。主要通貨はほとんど横這い推移。欧米もクリスマス前で売買手控えムード。そのなか発表された住宅指標の悪化を嫌気しドルは弱含み。	・11月の米耐久財受注4.4%、同新規住宅販売124.5万戸、12月のミシガン大インデックス91.5		116.68 116.13 116.90 116.26	138.52 137.60 138.65 138.00	寄付 安値 高値 終値
05/12/26 (月)	東京は開店休業状態。僅かに先週末の流れからのドル売り一巡後は調整的なショートカバーが優勢となった。ロンドンやNYを始めとする主要市場が休場のため目立った動意なし。	・東京以外、アジアや欧米諸国のほとんどの市場が休場		116.29 116.00 116.58 116.32	137.95 137.60 138.11 137.78	寄付 安値 高値 終値
05/12/27 (火)	東京は円独歩安。特別大きな材料はなかったものの、投機筋の仕掛け的な円売りが優勢だった。欧米は新規の材料に乏しく静かな値動き。米長短金利の逆転も反応は限定的なものに留まる。	・11月の失業率4.6%、同全国消費者物価0.1% ・ロンドン市場などは引き続き休場 ・米2年と10年債利回りが約5年ぶりに逆転へ	・日経新聞に信用取引規制強化の記事あり、東証は「まだ決定していない」と否定コメント ・谷垣財務相「デフレ状況は緩やかながら依然続いている」	116.56 116.55 117.45 117.45	137.98 137.96 139.07 138.89	寄付 安値 高値 終値
05/12/28 (水)	東京は珍しくユーロ主導の相場展開。発表された独経済が良好だったこともあり、ユーロが独歩高推移。欧米は一転ドル高へ。当初は金利低下を嫌気したドル売り先行したが一巡後はむしろ買い戻し優勢に。	・11月の鉱工業生産1.4% ・日経平均株価が年初来高値更新 ・12月の独GfK消費者信頼感指数3.8 ・12月の米消費者信頼感指数103.6		117.35 116.98 117.95 117.94	139.11 138.83 139.90 139.55	寄付 安値 高値 終値
05/12/29 (木)	東京は概ねレンジ。ただベルギー中銀総裁の発言もありユーロが対ドル、円で小じっかり。欧米は揉み合い。発表された米経済指標もほぼ予想通りの内容で反応は限定的なものに。	・FT紙「英ヒルソグループがオテル資産を36億ポンドで米HHCに売却か」 ・12月のシカゴPMIは61.5、11月の中古住宅販売697万戸 ・伊政府が次期中銀総裁にマリオドラギ氏を指名	・ベルギー中銀総裁「ユーロ圏の政策金利、現行水準に永遠に留まるとは保証できず」	117.74 117.73 117.99 117.85	139.46 139.33 139.88 139.53	寄付 安値 高値 終値
05/12/30 (金)	東京は円高。ただし特別な材料はなく、ポジション調整的な動きが先行しただけとの見方が有力。欧米は東京で買われ過ぎた円を売り戻す動き活発。終日を通すとほぼ行って来いの値動きに。			117.84 117.01 118.17 117.75	139.64 138.73 139.83 139.51	寄付 安値 高値 終値

*製作・著作「FXニュースレター」

URL; <http://www.fx-newsletter.com/>